

人材開発支援助成金を活用した

DX研修のご提案

2023年10月

サスケアリンク

介護福祉事業者支援の専門家集団『サスケアリンク』

2020年11月11日発足 100社140名在籍 介護福祉事業者の様々なサポートを実施



経営相談

- 介護福祉医療事業者をメインに様々な業種の方500社以上の相談対応



勉強会・研修会・交流会の開催

- これまで70回以上開催。延べ2,000名以上参加。
- Chat GPT、Web採用マーケティング、介護施設の業務改善など



ワンストップ経営サポート

- 人材支援（採用・定着・育成）、助成金補助金、デジタル化・ICT化、新規事業、経費削減など



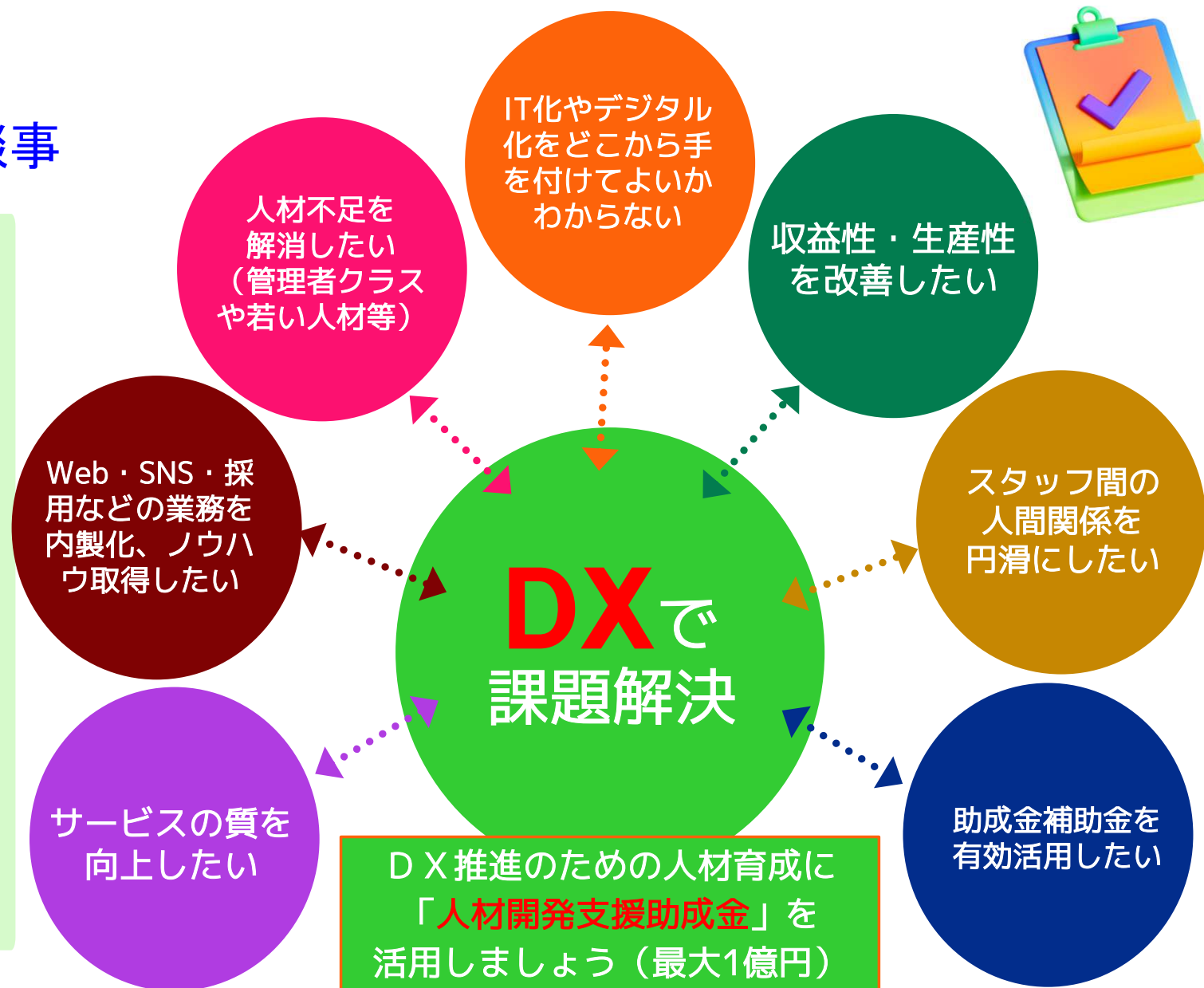
介護福祉事業者の 7つの大きな悩み・相談事

私たちは、**DX**を

『組織(企業)が自分たちで
データを正確に**分析**して、
その**課題**を**明確**にして、
適切に**改善**していく
自走力を身に付けること。』

だと考えます。

そのための**伴走支援**するのが
サスケアリンクです。



DX（デジタルトランスフォーメーション）とは

- デジタル技術やツールを導入すること自体ではなく、データやデジタル技術を使って、顧客目線で新たな価値を創出していくこと。
- また、そのためにビジネスモデルや企業文化等の変革に取り組むことが重要となる。

DXとは、**顧客視点で新たな価値を創出していくために、ビジネスモデルや文化の変革に取り組むこと。**

そのためには、はじめに経営者が自社の理念やパーパス(存在意義)を明確にした上で、実現したい未来＝経営ビジョン(5年後10年後にどんな会社になっていたいか)をしっかりと描き、その実現に向けて関係者を巻き込みながら、現在の状況と目指すべき状況の差を埋めるために解決すべき課題を整理し、デジタル技術を活用しながらこれらの課題解決を通じて、**ビジネスモデルや組織文化の変革に戦略的に取り組んでいくこと**が求められます。

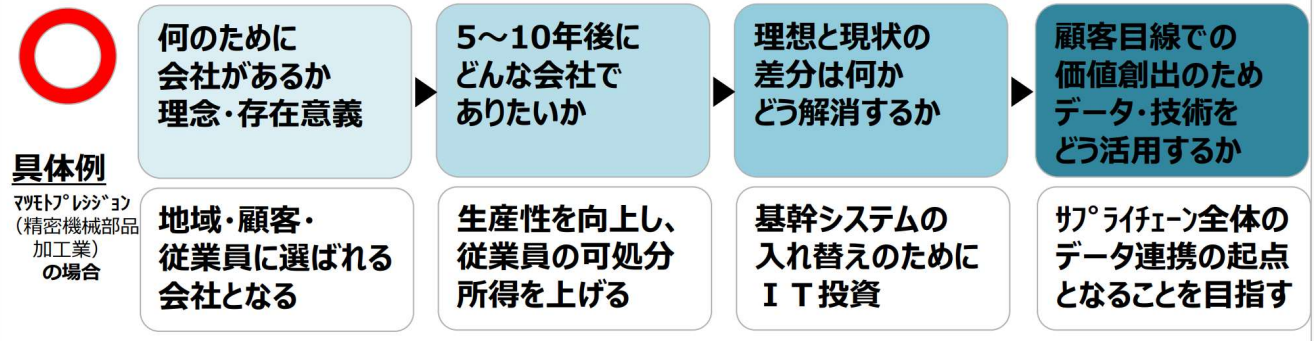


DX戦略

ビジョンの実現に向けて、どのように仕事の進め方を変革していくか？

そこでデジタル技術をどのように活用するか？

DX推進において経営者が考えるべきこと：



よくあるDXが進まないパターン：

× 『このロボット・システムを使うと便利だな』での導入

- ・ どのような価値を創出するかではなく、「AIを使って何かできないか」という発想に
 Ex.社長「AIやろう！」部長「なんかやるぞ！」現場「見積もりください！」ベンダ「・・・」（丸投げ）
- ・ 号令はかかるが、DXを実現するための経営としての仕組みの構築が伴っていない
 Ex.社長「明日からDXだ」部長「うちの部門は関係ない」現場「あー忙しい」（誰も変革に着手しない）

新規事業展開やDX推進等の人材育成に「人材開発支援助成金」が活用できます ～「事業展開等リスティング支援コース」のご案内～

人材開発支援助成金「事業展開等リスティング支援コース」は、企業の持続的発展のため、新製品の製造や新サービスの提供等により新たな分野に展開する、または、デジタル・グリーンといった成長分野の技術を取り入れ業務の効率化等を図るため、

- ① 既存事業にとらわれず、新規事業の立ち上げ等の事業展開に伴う人材育成
- ② 業務の効率化や脱炭素化などに取り組むため、デジタル・グリーン化に対応した人材の育成

に取り組む事業主を対象に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部を高率助成により支援する制度です。

助成率・助成額などは裏面をご覧ください→

▶「事業展開」とは、例えば…

新たな製品を製造したり、新たな商品やサービスを提供すること等により、新たな分野に進出すること。このほか、事業や業種の転換や、既存事業の中で製品の製造方法、商品やサービスの提供方法を変更する場合も事業展開にあたる。

- 例：・新商品や新サービスの開発、製造、提供又は販売を開始する
- ・日本料理店が、フランス料理店を新たに開業する
- ・繊維業を営む事業主が、医療機器の製造等、医療分野の事業を新たに開始する
- ・料理教室を経営していたが、オンラインサービスを新たに開始する 等

▶「デジタル・DX化」とは、例えば…

デジタル技術を活用して、業務の効率化を図ることや、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革する等し、競争上の優位性を確立すること。

- 例：・ITツールの活用や電子契約システムを導入し、社内のペーパーレス化を進めた
- ・アプリを開発し、顧客が待ち時間を見えるようにした
- ・顔認証やQRコード等によるチェックインサービスを導入し手続きを簡略化した 等

▶「グリーン・カーボンニュートラル化」とは、例えば…

徹底した省エネ、再生可能エネルギーの活用等により、CO2等の温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすること。

- 例：・農薬の散布にトラクターを使用していたが、ドローンを導入した
- ・風力発電機や太陽光パネルを導入した 等

助成率・助成額

雇用保険の被保険者が対象

1回の申請で合計10時間以上の受講が必要。1年度で3回まで申請可能

① 助成率・助成限度額

経費助成率		賃金助成額（1人1時間）		1事業所1年度あたりの助成限度額
中小企業	大企業	中小企業	大企業	
75%	60%	960円	480円	1億円

② 受講者1人あたりの経費助成限度額

10時間以上100時間未満		100時間以上200時間未満		200時間以上	
中小企業	大企業	中小企業	大企業	中小企業	大企業
30万円	20万円	40万円	25万円	50万円	30万円

注：e-ラーニング、通信制、定額制サービスによる訓練は経費助成のみです。

助成金活用例

研修費1,000,000円-助成金865,200円=134,800円で受講可能

例)新規事業のための人材育成を行った場合

課題

1年後に先端技術(IoTや画像AI)を活用した安全監視のためのシステムを設計・開発・販売する事業を新たに立ち上げたいが、現在は対応できる人材が足りない。

実施訓練

- 訓練コース
AI技術の基礎および応用
- 訓練内容
AIの基礎知識、機械学習等の訓練
訓練時間：30時間（7.5時間×4日間）
訓練経費：25万円/1人

4人受講する場合：100万円/4人

研修費

1,000,000円

助成内容・成果

[助成率・額]

経費助成：75%（中小企業）

賃金助成：1時間あたり960円（中小企業）

[左記の訓練内容の場合の例]

助成金

865,200円

● 経費

経費助成：75万円（25万円×75%×4人）

賃金助成：115,200円（30時間×960円×4人）

● 成果

無事に新規事業を立ち上げることができ、新技術を活用した新製品や新サービスの開発、製造等を開始することができた。

徳島県内・人材開発支援助成金 事業展開等リスキング支援コースの活用例

事業展開



【食品製造業】従業員数 300 名程

消費者の需要傾向にあった新しい商品を開発し、新規顧客をさらに開拓していくため、商品開発向上のための研修を受講させることで、情報収集力やニーズ把握力、企画力の向上を図る。

事業展開



【建設業】従業員数 50 名程

これまで受注できなかった分野の工事を受注し、事業の拡大を図るため、若手社員を対象とした育成研修を受講させ、専門的な教育を受けることで、若年層の社員に現場で生かせるスキルを習得させる。

DX化



【金融業】従業員数 1,000 名以上

地域産業のDX化を推進するため、専任コンサルタントを講師とした育成カリキュラムにより、顧客企業へのコンサルティング力やDX化への戦略立案、システム導入の企画・補助など、高度で実践的な専門スキルの習得を図る。

DX化



【建設業】従業員数 30 名程

測量受注の拡大に向け、ドローンを活用した測量作業に習熟した従業員の育成を目指し、ドローンの操縦技能や安全運航管理者資格の取得を目指した講習を受講させる。

事業展開



【イベント業】従業員数 150 名程

コロナ禍を経て、既存スタイルのイベント・婚礼等では集客が難しくなったことから、新たな形態によるイベント等の企画・立案に従事させるため、若手幹部候補にポリテク徳島が実施する「生産性向上支援訓練」を受講させる。

事業展開



【建設業】従業員数 10 名以下

大手メーカーとの提携により内装工事部門の強化を図るため、プレハブ建築内装施工の研修カリキュラムを受講し、大手が必要とする内装組立工事の知識や技能を学ぶ。

DX化



【卸・小売業】従業員数 100 名程

ロボット、AI、IoT、情報技術等の最新技術の習得に全社的に取り組むこととし、可能な限り多くの従業員に効率的な研修を実施するため、「サブスクリプション型」の講座を受講させる。

DX化



【情報通信業】従業員数 50 名程

システムの基礎的な知識に始まり、アルゴリズムやデータ構造、データベース技術、ネットワーク技術及びWebページの知識習得のため、若手社員にIT総合研修を受講させる。

事業展開等リスキング支援コースの活用例

事業展開



農業における鳥獣被害を解決するためのドローン利用による鳥獣監視・追払いシステムを構築し、他社への展開を図るため、これらに必要な「ドローンライセンス講習」を受講させ、パイロットを養成した

事業展開



現状外部委託しているECサイトを自社で運営できるよう、コンテンツ制作や情報更新、ITリテラシーなどの専門知識を持った人材を育てるため、従業員に「WEBクリエイターベーシック」を受講させた

DX化



社内DX化を推進していくため、Excel・アプリ作成・データ活用など、様々なコンテンツをすき間時間に受講できる定額制（サブスク型）サービスによる「デジタル人材育成研修」を導入した

DX化



建設業における請求書の仕訳・確認、労務管理、集計などのバックオフィス業務の自動化を図るため、「デジタル人材育成サービス」を受講させた

DX化



ドローンを使った検査業務へ移行しつつあることから、従業員に「フライト基本技術コース」「非破壊検査基本コース」「ドローン減災士」を受講させた

事業展開



新たにリフォーム事業を立ち上げるため、リフォーム工事の中核となる従業員に「内装の部分リペア実践技術コース」を受講させた

事業展開



介護事業を営んでいるが、利用者へ提供するお米をより安心安全、美味しいものにするため、自社で稲の育成から収穫、精米作業まで行えるよう「稲作事業研修」を実施した

DX化



医療DX推進に対応できる人材を育成するため、ITやDXの基礎、システムの設計・開発を網羅した「医療DX人材育成プログラム」を受講させた

DX化



CADを扱える者が社内ほとんどおらず、商品の開発、改良が進んでいないことから、これらを円滑化するため、「2次元CADによる機械製図技術」を受講させた

グリーン・カーボン・ニュートラル化



農薬の散布にトラクターを使用していたが、CO2等の温室効果ガスの排出をゼロにするため、ドローンを導入することにし、「農業用ドローン認定講座」を受講させた

例えばこんな組み合わせ

SNSの活用やWebマーケティングを
学び、採用や集客につなげたい！

研修受講料 550,000円

助成金 474,900円

実質負担金額 75,100円

2023年10月6日時点での内容です。受講料・カリキュラムは変更する場合がございます

講座名	概要	時間	人数	合計受講料	助成金額	実質負担金額
DX研修 ベーシック	DX化が求められている背景 DX化で目指せず姿・IT化では到達できなかった働き方改革 事例で学ぶデジタル技術を活用してできること DX化の進め方①DX認定制度から学ぶ DX化の進め方②自社診断と課題抽出の手法	2H	5人	¥50,000	¥47,100	¥2,900
Webの活用（採用マーケティング） ※3名から受講可能	Web採用戦略とは、Web採用手法、採用定着マーケティングなど	3H	5人	¥150,000	¥126,900	¥23,100
Webの活用（写真、動画ミドル） ※3名から受講可能	企画構成、撮影、編集、Webへのアップロード	4H	5人	¥200,000	¥169,200	¥30,800
Webの活用（SNSの活用）	動向、活用例、制作運用方法、マーケティング方法など	4H	5人	¥150,000	¥131,700	¥18,300
		13H/人		¥550,000	¥474,900	¥75,100

Chat GPTやExcelなどの機能を活用して
管理部門業務の生産性を上げたい。

研修受講料 420,000円

助成金 349,560円

実質負担金額 70,440円


講座名	概要	時間	人数	合計受講料	助成金額	実質負担金額
DX研修 ベーシック	DX化が求められている背景 DX化で目指せず姿・IT化では到達できなかった働き方改革 事例で学ぶデジタル技術を活用してできること DX化の進め方①DX認定制度から学ぶ DX化の進め方②自社診断と課題抽出の手法	2H	3人	¥30,000	¥28,260	¥1,740
DX認定取得研修 ベーシック	DX認定制度とは DX認定制度必要プロセス セキュリティ診断 DX自己評価	3H	3人	¥150,000	¥121,140	¥28,860
Chat GPT研修	Chat GPTを学ぶメリット、正しい活用方法、業務効率化事例、Excel、PowerPointでの活用方法など	3H	3人	¥90,000	¥76,140	¥13,860
Microsoft365研修	自社で活用できるメニューを選択して受講可能 ※時間数も調整可能です	4H	3人	¥150,000	¥124,020	¥25,980
		12H/人		¥420,000	¥349,560	¥70,440

※実質負担金額は、助成金を受講者全員活用した場合の金額です

サスケアリンクのDX研修を活用して自社のDXを推進していきましょう

サスケアリンクDX研修の強み

- ①介護福祉の専門家が集まり、実践的なプログラム開発
- ②貴社のニーズにあわせたオーダーメイド型のカリキュラムを提供
- ③質疑応答、グループワークなどコミュニケーション重視

DXを学びたい DX認定制度取得を通じてDX推進したい 	DX化の必要性から、有効性をわかりやすく理解頂き、実践的にDXを進められます。
DX化に必要なITリテラシーを高めたい	Microsoft365系のソフト（Chat GPT、Excel、PowerPointなど）を学び、業務の生産性を向上
外注していたWeb（SNSも）関連の業務を内製化したい	採用などのWebマーケティングや静止画動画の撮影編集を学び、採用や集客につなげられます。

※人材開発支援助成金の申請はサスケアリンク知恵袋会員の社労士がお手伝いします（有料）

サスケアリンクのDX研修ラインナップ例



DX推進に向けた実践研修

DX研修 ベーシック

内容 DXの重要性・推進方法を学ぶ
対象者 経営幹部、管理者クラス
時間数 2時間

DX研修 ミドル (ベーシック修了者向け)

内容 DX推進のための実践的手法を学ぶ
対象者 経営幹部、管理者クラス、実務担当者
時間数 1回2時間×3回

DX認定取得研修

内容 DX認定取得のための手法を学ぶ
対象者 経営幹部、管理者クラス、実務担当者
時間数 3時間

ITツールの活用に向けた実践研修

ITツール活用研修 各種

目的 リテラシー向上や内製化など
内容 実践的に活用できるようにする

Excel研修

Chat GPT研修

Webの活用 (採用マーケティング)

Webの活用 (写真、動画)

Webの活用 (SNSの活用)

Webの活用 (サイトの制作・更新)

PowerPoint研修

Microsoft365研修 など

※ご要望に応じてカスタマイズ可能なプログラムもございます。ご相談下さい。

サスケアリンク講師陣

サスケアリンク プロフィールシート

和泉 逸平

IPPEI IZUMI

株式会社ヘルステクノロジー 代表取締役

サスケアリンク
知恵袋会員
理事



ABOUT ME

- 活動エリア 東京都、愛媛県、栃木県、福島県
- 業種 DX支援・事務運営サポート
- 星座 おうし座
- 出身地 愛媛県愛南町
- 趣味 サッカー観戦
- キーワード DX、介護、フレイル、認知症、歯科、終活、愛媛FC

CONTACT

TEL 090-3008-2628
E-MAIL ipizumi@gmail.com
X @ipizumi

プロフィール

- 1973年 愛媛県愛南町で生まれる
- 2005年 社会福祉法人るりごう会設立準備室長として介護施設運営に携わり始める
特定非営利活動法人寺院ネットワーク設立 理事
特定非営利活動法人るりごう会 理事
愛媛FC 1リーグ昇格要請署名発起人(約20万人分の署名が集まる)
- 2009年 社会福祉法人るりごう会 理事
- 2015年 株式会社菊池製作所 マツルズ実証評価事業実施
- 2016年 株式会社ヘルステクノロジー 設立 代表取締役 菊池製作所の関連会社
- 2020年 公益財団法人国際医療財団 理事・事務局長 (最先端医療・公衆衛生)
- 2020年 ふくしまロボットシティ推進協議会 運営委員 (スマートシティ推進)
- 2020年 サスケアリンク発足に伴い理事に就任
- 2021年 一般社団法人国際歯科医療安全機構 事務局長 (歯科医療安全の普及)
- 2021年 医療法人社団馨光会 理事 (フレイル認知症予防・訪問診療)
- 2023年 公益財団法人正光会 監事(精神科病院の運営)
- 2023年 四国地区DX推進コミュニティ いろいろなことを組み合わせてやっています

会社名 株式会社ヘルステクノロジー

株式会社ヘルステクノロジー
HEALTH TECHNOLOGY CO., LTD.

設立: 2016年5月20日

〒979-2162
福島県南相馬市小高区飯崎字南原65-1
菊池製作所南相馬工場内

TEL: 0244-32-0005
URL: https://htf.jp

商品・サービス紹介

介護施設のワンストップ相談・自走化サポート
※自走化とは
自らのデータ収集・分析により、課題を把握し、改善していく体制づくりをお手伝いします

フレイル・認知症予防事業

認知機能低下リスク判定、りんご教室
センサによる歩行計測、エコーによる膝下筋計測
食事介護ボランティア養成研修の実施などにより
総合的にフレイル対策を行っています



■ 令和2年度 AMED ロボット介護機器開発・標準化事業にて『ケアマネジメントサイクルを活用した業務時間分析システムに関する研究開発』が採択。
■ 令和5年度 地域DX促進活動支援事業にてデジタル専門家として参画する「四国DX推進コミュニティ」が採択。医療・介護・障害分野のDX認定取得支援を担当。事業収支・勤務シフトを主とした簡易経営分析からスタートし、データを根拠としたビジョン・戦略策定を支援

2012年よりMicrosoftのクラウドセールスを始め、DXの考え方に日本中に展開し、トップセールスとなる。世界中のMicrosoft代理店の中からトップセールスだけが招へいされる会議に参加。
WORK STYLE BOOKが評価される。特にWorking makes happinessの考え方は世界中で紹介される。



サスケアリンク プロフィールシート

鈴木篤史

Atsushi Suzuki

エイチエスト株式会社 代表取締役

サスケアリンク
知恵袋会員
理事



ABOUT ME

- 活動エリア 全国、バトナム
- 業種 DX・IT導入コンサル
- 星座 うお座
- 出身地 愛知県岡崎市
- 趣味 IT、Disney、車
- キーワード DX、Microsoft、クラウド、バトナム

CONTACT

TEL 090-4239-6535
E-MAIL a_suzuki@a-chesu.jp

- 2000年~2012年 IT企業役員
600社2000案件の工場倉庫向けの物流ソリューション
2012年より新規事業を立ち上げDX推進をスタート
約200社の働き方改革支援
Microsoftシニアクラウドセールスアドバイザーに就任
- 2016年~2018年 Web系IT企業役員
Web広告導入支援
- 2018年~現在 エイチエスト設立 システム導入コンサル、DX支援
※バトナムオフショア企業に出資
- 2020年~現在 エイチエス株式会社 設立 (システム開発事業)
アストロラーベ株式会社 設立 (SNS活用支援事業)
エイムス株式会社 設立 (IT技術教育事業)

※岡崎IT会 創始者
※NIC名古屋 会長
※サスケアリンク理事

A-CHEST

会社名 エイチエスト株式会社

〒444-0804
愛知県岡崎市美合町生田225

TEL: 090-4239-6535

商品・サービス紹介

- ◇中堅企業向けのDX・IT導入コンサル
- ◇中小企業向けのクラウド活用支援
- ◇IT企業向けのシステム開発支援

※サスケアメンバーには無償で相談をお受けいたしますのでお気軽にご相談ください。



Working makes happiness



DX・採用Webマーケティング・Webを活用したSNSマーケティング・バックオフィスの自動化など
様々な専門家が多数在籍し、皆さんをサポートいたします。

研修例 (一例です。詳しくはお問合せ下さい)



DX研修ベーシック (介護福祉向けにアレンジ可能)

研修のポイント

2023年10月6日時点での内容です。受講料・カリキュラムは変更する場合がございます

- ★介護福祉事業者にとってDXが何故必要なのか具体的にわかる！
- ★DX化を進めるにあたり、どのようにスタッフを巻き込んでいくか成功事例を元にイメージできる
- ★デジタル化することで見える自社の未来のイメージが鮮明になる
- ★ロボットありきではなく、自社の課題から何をデジタル化する必要があるのかを考えられる

目的	DXの重要性・推進方法を学ぶ
対象者	経営幹部、管理者クラス
受講方法	企業内またはオンライン
時間数	2時間
受講料	3万円 (1社3名まで受講可)

カリキュラム (受講企業の状況に応じて変更する場合がございます)

- DX化が求められている背景
- DX化で目指す姿・IT化では到達できなかった働き方改革
- 事例で学ぶロボットICTを活用してできること
- DX化の進め方①DX認定制度から学ぶ
- DX化の進め方②現状の企業収益・シフト分析と課題抽出手法



助成金1名申請の場合

受講料30,000円 助成金24,420円 実質負担金額 5,580円(81%助成)

助成金3名申請の場合

受講料30,000円 助成金28,260円 実質負担金額 1,740円(94%助成)

※1年度で3回まで申請可能

※1回の申請で1人合計10時間以上の受講が必要

参考資料

★DX講師和泉氏

★社福での改善事例

講師経歴

■平成27年度 介護ロボットを活用した介護技術開発支援モデル事業

平成27年度
介護ロボットを活用した
介護技術開発支援モデル事業

成果概要



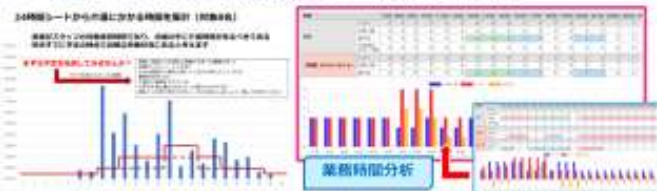
腰補助用介護ロボット
インフィスマッスルスーツ

介護ロボットの普及を促進するために介護の現場で実証

移乗介助の一部、排泄介助の一部に活用できることを確認

しかし、導入障壁は別にあることが分かった

■令和2年度 AMED ロボット介護機器開発・標準化事業



厚生労働省発行の業務改善の手引きを活用
業務量と人員配置のミスマッチが一番の問題だと仮定
介護計画と勤務シフトから可視化するシステムを開発

■令和5年度 地域DX促進活動支援事業



デジタル専門家として参加
地域支援者、サイバーセキュリティ専門家と共に
「四国DX推進コミュニティ」を形成

医療・介護・障害分野のDX認定取得支援を担当
勤務シフトを主とした簡易経営分析からスタート
データを根拠としたビジョン策定を試行

優先対応した課題と取組の変化

■令和2年度 AMED ロボット介護機器開発・標準化事業での実証施設

2020年1月頃

介護ロボットの導入、
ICTの導入、
やってみましたが、
うまくいかないんです

使いこなしているところ
とはスタッフの質が
違うんです

施設長
40歳



やりたいこと、取り組みたい
ことはたくさんあります

でも、どこから手をつけてい
いのか分かりません

**スタッフ5名が一気に退職です
緊急事態です！助けて下さい！**

	優先対応した課題とその対応	大事にしたこと	変化
初期	介護スタッフが足りません！ インターネット求人を活用 時間ごとの業務量を可視化 新人定着のためのマニュアル作成	(○) スタッフ () 利用者 () 地域	応募数(年) 5件→50件 ※釋放除く 新人定着率 40%→90%
第2期	勤務の不公平感の解消 (人員充足を受け) ユニット単位での仕事量と勤務時間 1人勤務(ワンオペ)時間の可視化 夜間帯睡眠状態の確認 ストレス度の簡易チェック	(○) スタッフ () 利用者 () 地域	担当部門以外 への関心の広 がり 協力体制構築
第3期	入居希望者の減少！ チラシ、ホームページの内製化 Microsoft365、wordpress 営業時間の確保 地域向け健康教室りんご教室導入し 地域との接点の拡大	() スタッフ () 利用者 (○) 地域	地域住民との 接点拡大 在宅部門との 連携体制
第4期	介護の質を上げたい (夜間の睡眠状態のデータより) 認知症入居者への対応 起床時間をもっと遅くしたい 夕食後の生活の見直し	(○) スタッフ (○) 利用者 () 地域	夕食後の スタッフ確保 勤務時間帯の 見直し 人員不足時間 の特定

**総勤務時間
12%減**

生産性向上9%

研修例 (一例です。詳しくはお問合せ下さい)



DX認定取得研修 (介護福祉向けにアレンジ可能)

DX認定取得のメリット

- 1: DX認定制度ロゴマークの使用
- 2: 中小企業を対象とした金融支援措置 (日本政策金融公庫による金利優遇)
- 3: 税制による支援措置 (DX投資促進税制による税額控除もしくは特別償却)
- 4: 人材育成のための訓練に対する支援措置 (人材開発支援助成金)



★2023年9月時点のDX認定事業者は約800社。
DX認定は、6,000社に1社しか取得していない
希少な認定制度と言えます。

目的 DX認定取得のための手法を学ぶ
対象者 経営幹部、管理者クラス、実務担当者
受講方法 企業内またはオンライン
時間数 3時間
受講料 5万円/1名



- カリキュラム**
- DX認定制度とは
 - DX認定制度必要プロセス
 - セキュリティ診断
 - DX自己診断

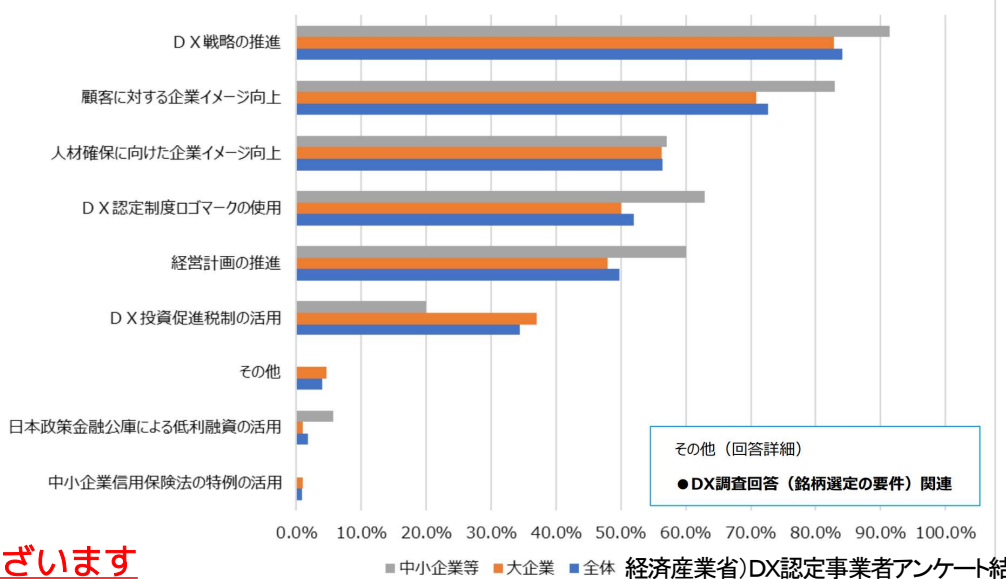
助成金1名申請の場合
 受講料50,000円 助成金40,380円
 実質負担金額 **9,620円(81%助成)**

1年度で3回まで申請可能
 1回の申請で1人合計10時間以上の受講が必要

2023年10月6日時点での内容です。受講料・カリキュラムは変更する場合がございます

Q6. DX認定を取得したことによるメリットは、何があると思われますか。 ※複数回答可 (n=227)

- DX認定を取得した事業者の多くがDX戦略の推進に役立っていると感じていることに加え、顧客イメージの向上や人材確保に向けた企業イメージの向上においてもメリットを感じている



参考資料 (介護向け)

DX認定に向けての手順



DX認定制度

情報処理の促進に関する法律第三十一条に基づく認定制度

DX推進施策の体系化

- 企業のDXレベルに合わせて、企業認定や優良企業選定などの施策を提供

DXの取組が進み、成果も現れている



未だDXに取り組めていない

DX認定

申請から認定の流れ



DX-Readyレベル
DXの準備ができている

デジタル技術の活用戦略
達成度指標 (KPI) 設定

サイバーセキュリティ対策
SECURITY ACTION宣言
★★ 二つ星宣言

- 企業の規模や業種を問わず、全ての事業者が対象
- 認定申請や認定の維持に係る費用は**全て無料**
- **1年間いつでもオンライン申請**が可能
- IPAが審査を行い、**経産大臣が認定**
- 認定事業者については、**オンラインで公表**・認定事業者の取組の検索が可能。

研修例 (一例です。詳しくはお問合せ下さい)

ITツール活用に向けた実践研修

1年度で3回まで申請可能
1回の申請で1人合計10時間以上の受講が必要

2023年10月6日時点での内容です。受講料・カリキュラムは変更する場合がございます
講座は現在70テーマあり、今後更に増やします。詳しくはご相談下さい。



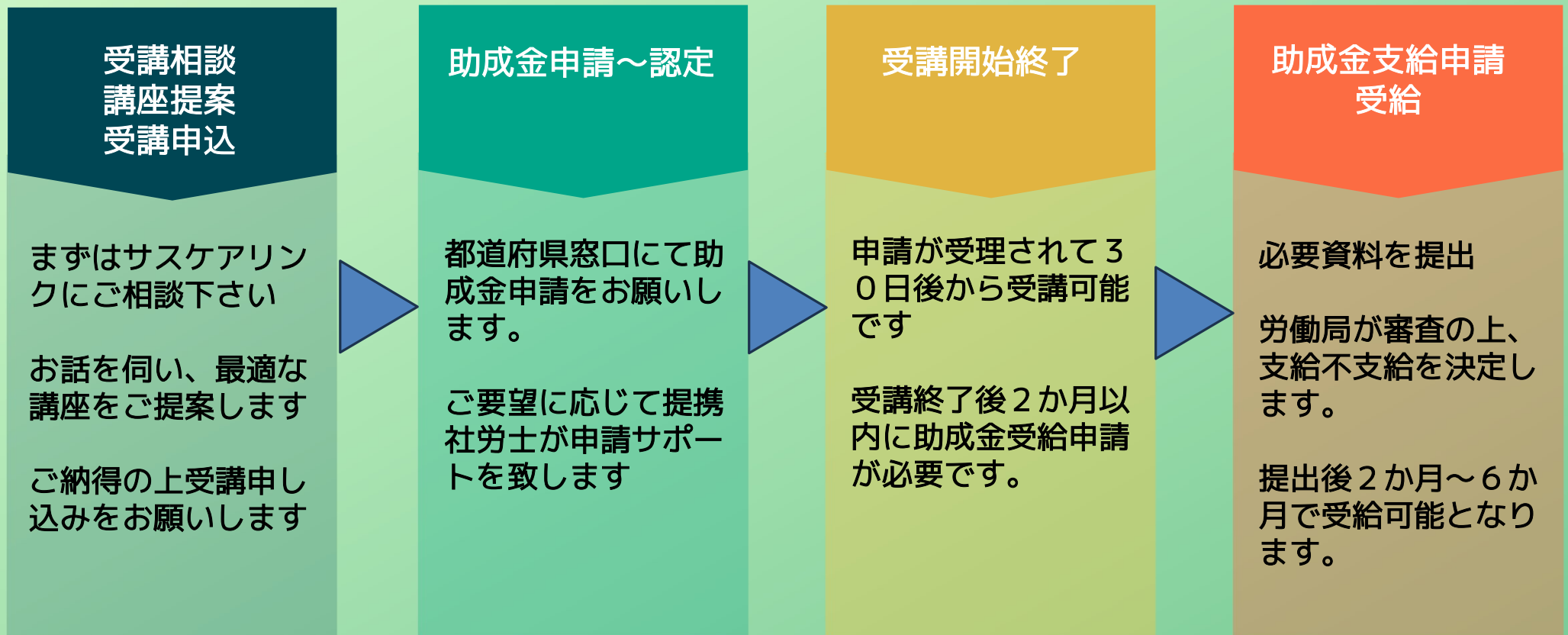
例えばこんなお悩みに

- ★採用や集客のためにSNS含めたWebを通じて、マーケティングや動画の作成配信を行いたい
- ★Chat GPTを活用して、情報収集や資料作成、顧客サポートの品質向上などに取り組みたい
- ★Microsoft365を活用して、バックオフィスの自動化や生産性向上につなげたい

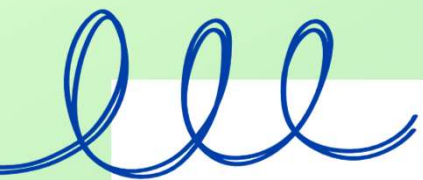
講座名	概要	時間	人数	合計受講料	助成金額	実質負担金額
Excel研修	データ抽出、分析、整理につかえるExcel活用方法（関数、グラフなど）	2H	1人	¥20,000	¥16,920	¥3,080
Chat GPT研修	Chat GPTを学ぶメリット、正しい活用方法、業務効率化事例、Excel、PowerPointでの活用方法など	3H	1人	¥30,000	¥25,380	¥4,620
Webの活用（採用マーケティング） ※3名から受講可能	Web採用戦略とは、Web採用手法、採用定着マーケティングなど	3H	3人	¥90,000	¥76,140	¥13,860
Webの活用（写真、動画ベーシック） ※3名から受講可能	企画構成、撮影、編集、Webへのアップロード	2H	3人	¥60,000	¥50,760	¥9,240
Webの活用（写真、動画ミドル） ※3名から受講可能	企画構成、撮影、編集、Webへのアップロード	4H	3人	¥120,000	¥101,520	¥18,480
Webの活用（SNSの活用） ※3名から受講可能	動向、活用例、制作運用方法、マーケティング方法など	4H	3人	¥90,000	¥79,020	¥10,980
Webの活用（サイトの制作・更新）	各種サイト制作ツール？Wordpressの制作？更新の仕方？	3H	1人	¥50,000	¥40,380	¥9,620
Microsoft365研修	自社で活用できるメニューを選択して受講可能※時間数も調整	4H	1人	¥50,000	¥41,340	¥8,660



相談・受講・助成金受給までの流れ



まずはサスケアリンクまでご相談下さい
メールまたは相談問い合わせフォームよりご連絡下さい



お気軽にご連絡ください



サスケアリンク

<https://suscare.net>

Mail : info@suscare.net

Tel : 050-8880-8677

本部事務局：名古屋市中村区名駅5-23-17

東京事務局：東京都江戸川区鹿骨1-22-8-1F

四国事務局：愛媛県松山市南齊院町1108-2-302